

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
令和7年度事後評価 課題対象課題

令和5年度公募採択:32 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
節足動物媒介感染症の予防・治療・ 診断・感染制御に関する研究	林 昌宏	国立健康危 機管理研究 機構	室長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
出血熱アレナウイルス感染症の予 防法及び治療法開発のための分子 基盤研究	岩崎 正治	大阪大学	特任 准教授	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
新しいイメージング技術による節 足動物媒介フラビウイルスの治療 薬開発に資する研究開発	岡本 徹	順天堂大学	主任 教授	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
エボラウイルス病に対する次世代 ワクチンの研究開発	河岡 義裕	東京大学	特任 教授	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
Mpox を中心としたオルソポック スウイルス感染症に関する総合研 究	前田 健	国立健康危 機管理研究 機構	部長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
RS ウイルス感染症サーベイランス システムの整備・流行動態解明およ び病態形成・重症化因子の解明に 関する開発研究	白戸 憲也	国立健康危 機管理研究 機構	室長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
季節性インフルエンザウイルス流行 株の構造・抗原性および遺伝子情 報を利用した流行株の予測法の確 立とワクチン株選定への活用	渡邊 真治	国立健康危 機管理研究 機構	室長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
AMR に関するアジア太平洋ワン ヘルス・イニシアチブ(ASPIRE)に基 づく薬剤耐性菌とその制御に関す る研究	泉谷 秀昌	国立健康危 機管理研究 機構	室長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
アジア諸国と協調して展開する Advanced One Health Tricycle Project	菅井 基行	国立健康危 機管理研究 機構	セン ター長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
革新的手法による臨床と環境を循 環する薬剤耐性遺伝子の動態解析	鈴木 仁人	国立健康危 機管理研究 機構	主任 研究官	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
医療関連施設の排水における薬剤 耐性菌および残留抗菌薬の実態調 査(モニタリング)と迅速・大量解析 法(ハイスループット)の研究開発	松永 展明	国立健康危 機管理研究 機構	副セン ター長	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
粘膜抗体による呼吸器ウイルス感染症のウイルス排出制御に資する基盤技術創出研究	鈴木 忠樹	国立健康危機管理研究機構	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
感染症対策に資する数理モデルの実装と臨床感染症学との協働	西浦 博	京都大学	教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
新型インフルエンザ感染症に対する Point of Care Testing 型免疫動向把握・予測ツールに関する研究開発	上菟 義典	慶應義塾大学	専任講師	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
全てのパラミクソウイルスに対応する弱毒ワクチン開発機構と新規ワクチンベクターへの応用	松本 祐介	鹿児島大学	准教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
下痢症ウイルスの分子疫学を基盤にした流行制御にかかる研究	影山 努	国立健康危機管理研究機構	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
疫学調査と流行動向変化に基づいた、下痢症ウイルスに対する革新的粘膜ワクチン、抗体医薬、迅速診断法、およびインビトロ評価系の開発	清野 宏	千葉大学	卓越教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
下痢症ウイルス感染症の予防法、治療法の開発に向けた細胞生物学的、構造生物学的研究	染谷 雄一	国立健康危機管理研究機構	室長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
HTLV-1 潜伏感染制御・根治に向けた iPS 細胞由来抗 CADM1-CAR-T 細胞開発に関する研究	立川 愛	国立健康危機管理研究機構	室長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
HTLV-1 水平感染の動向と検査法・検査体制の整備	三浦 清徳	長崎大学	教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
ゲノム情報を基盤とした HTLV-1 感染症の病態形成機序の解明及び発症リスク予知アルゴリズム開発に関する総合的研究	山岸 誠	東京大学	准教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
非結核性抗酸菌症のサーベイランス、ゲノム情報を基盤とする病態形成機序、薬剤耐性機構、検査・診断法の確立及び新規治療薬等の開発に資する研究	阿戸 学	国立健康危機管理研究機構	センター長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
結核低まん延状況における連携強化及び技術革新による結核対策に関する研究	加藤 誠也	結核予防会結核研究所	所長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
難治性・多剤耐性結核に対する革新的治療法の開発とその提供体制に関する総合的研究	露口 一成	国立病院機構近畿中央呼吸器センター	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
梅毒病原体の迅速検出系の確立とそれを利用したゲノム疫学的手法による梅毒の理解に資する研究	明田 幸宏	国立健康危機管理研究機構	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
感染性流早産起因細菌ウレアプラズマの制御に関する応用研究開発	柳原 格	大阪府立病院機構大阪母子医療センター	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
ヘリコバクター感染の診断法開発と感染実態、感染病態に寄与する因子の解明	林原 絵美子	国立健康危機管理研究機構	室長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
侵襲性酵母感染症の診断・治療法の研究開発と薬剤耐性カンジダ症の疫学研究	宮崎 義継	国立健康危機管理研究機構	副所長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
国内で問題となる寄生虫症の予防並びに治療に関する研究開発	野崎 智義	東京大学	教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
国内に蔓延する寄生虫症、輸入寄生虫症の対策に資する研究開発	久枝 一	国立健康危機管理研究機構	部長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
日本のトキソプラズマとクリプトスポリジウムが起すヒト孢子虫類原虫症の病態理解・感染実態把握・制御に向けた総合的研究開発	山本 雅裕	大阪大学	教授	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
アジア各国の感染症研究機関との高度な共同研究・連携体制に基づく先進的ネットワーク構築に関する研究	俣野 哲朗	国立健康危機管理研究機構	所長	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

令和 7 年度公募採択:1 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
エムボックスの治療・予防体制の整備に関する研究開発	氏家 無限	国立健康危機管理研究機構	医長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

令和 6 年度公募(3 次)採択:1 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
エムボックスの治療体制の整備に関する研究開発	森岡 慎一郎	国立健康危機管理研究機構	医長	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

令和 6 年度公募(4 次)採択:6 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究開発期間
Mpox 体外診断薬と MPXV/VZV 二抗原検出キットの開発	磯部 正治	富山大学	特別 研究 教授	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
オルソポックス属ウイルス感染症治 療に有効な新規作用機序の抗ウイル ス薬の研究開発	日紫喜 隆行	国立健康危 機管理研究 機構	主任 研究官	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
エムポックスウイルスに対する中和 抗体価測定系の標準化に資する基 盤的研究	相内 章	国立健康危 機管理研究 機構	室長	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
オルソポックスウイルス感染症に対 する血清疫学手法の開発を起点と した発症予防に資するヒト免疫機 構の解明	加来 奈津子	大阪公立大 学	講師	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
コンゴ盆地型 Mpox ウイルスの蛋 白質と抗体に関する研究開発	高田 礼人	北海道大学	教授	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
オルガノイド技術を用いたエムポッ クスウイルスの性状解析と創薬研 究	高山 和雄	東京科学大 学	教授	令和 7 年 5 月 27 日～ 令和 8 年 3 月 31 日